

山下小「学校教育目標」と「令和8年度重点目標」

自分のよさを発揮し、友だちと共に伸びていく子どもが育つ学校

【令和8年度重点目標】話す・聴く・深める学び しなやかなチーム支援

豊かな人間性

- 創造力、実践力に富んだ個性豊かで思いやりのある心

健やかな体

- 自分の健康や安全に関心をもつ
- 必要な知識や実践力を身に付ける

資質・能力の育成

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- ①主体的に学び、ねばり強く取り組む。
- ②自分のよさ、他者のよさに気づく。
- ③他者の言葉に耳を傾けながら、自分の考えを深め、課題を解決する。
- ④社会の変化に対応できる。

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- ①課題に対して見通しをもち、必要な学び直しをしながら学習に取り組んでいる。
- ②おたがいを認め合っている。
- ③聴いて 考えて つなげる力がついている。
- ④学んだことを他に広げ、活用しようとしている。

目指す学校の姿

- 挨拶と思いやりにあふれる学校
- 自分の考えをもち、意欲あふれる活気ある学校
- 子どもの人権や個性を尊重する学校
- 保護者・地域と共に創る学校

児童の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする児童への指導

- ①全教職員で児童一人一人をみていく・職員間の情報共有
- ②一人一人の特性やニーズに応じた指導・SC、SSW、関係機関等との連携
- ③ユニバーサルな視点を持った指導
- ④支援ツール（ICT 機器等）の活用

目指す児童の姿

- や・やる気を出し
- ま・まわりの人を思いやり
- し・しっかり力を合わせ
- た・たくましくがんばる

何を学ぶか

○教育課程の編成

- 課題に対して自分の問いをたてる力
- 言語化する力（自己表現）
- 相手を意識したコミュニケーション力（他者意識）

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- 体験的に学ぶ。
- 対話を通して、学習したことをつなげながら学ぶ。
- 「ひと・もの・こと」とかかわりながら学ぶ。

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 子どもが自分の学校、地域を好きになり、自己有用観を高める。（地域素材の活用・ふれあい山下など）
- 地域、家庭との信頼関係を構築する。（教育相談、授業参観など）
- 指導・支援体制を充実する。（校内研修、全職員によるチーム支援、ICT 活用など）

安心・安全な学校づくり

- 「自分の身は自分で守る」態度の育成
- 防犯・防災教育、人権教育の充実
- 支援体制の見直しと充実

地域と共にある学校づくり

- 学校運営協議会での協議
- 地域の教育力（ひと・もの・こと）を生かした教育課程の編成
- 学校だより、学年・学級だより、ちいき情報局などによる情報発信